

夢サラダ Vol.33

2006.8.1 発行

「市民が共におこすまちづくり事業」

市民活動の拠点を目指しています。
「今治市民活動センター」
運営：(特非) 今治NPOサポートセンター
【お問合せ】TEL/FAX 25-8234

市民活動センターイベント報告

7月18日、29名(16団体)が参加しました。

第2回利用者座談会 聴いてみよう、仲間の活動!

活動の様子を聴き、連携のきっかけや運営上の課題の解決案を得てもらおうと、座談会を開催しました。

3団体の活動報告発表



カードで共有



振り返り

【愛媛 S.G.G クラブ今治支部】

通訳(英語)、手紙等の翻訳(英語、中国語、タイ語)、今治地区観光ガイド(英語、タイ語)をしている。「外国に行くのが好き」「会員相互の学びあいが魅力」など、メンバーの参加動機は様々。新規会員募集中。定例会は英語を勉強したい人にとっていい機会。

【ゆうゆうヘルプ・波方】

「たのみ上手のたのまれ上手」をモットーに日常生活の困りごとを会員相互に助け合っている。サービスと時間を交換するタイムダラーシステム。「ネットワークができて安心」との地域の声。各地区自治会との交流を通して認知を得ることが今後の目標。

【NPO法人SIDS家族の会】

主に子どもを亡くした家族への精神的援助を行なっている。子どもを亡くした親の1人が仲間として話し相手になる「ビフレンダー(Be Friender)」が県内には一人しかいない。今後、積極的に活動をPRしたい。

「質問」「助言」「共感」「参加」など、感じたことをカードで提示、共有。その後、4つのグループに分かれ、座談会全体を振り返りました。

市民活動を実際に行われている方はもちろん、これからかかわってみたいと考えている方、行政職員の方など、多様な参加者が意見交換。新しい視点や課題解決策を交換しました。



第3回利用者座談会(予定)

9月21日(木)19:30~ 場所:今治市民活動センター
※詳細は、後日チラシでご案内します。

サマーボランティアキャンペーン2006 期間:7月1日(土)~9月30日(土)

「サマーボランティア・キャンペーン2006」は、今までボランティア活動に興味がありながら、なかなか参加するきっかけのなかった皆さんが、夏の期間を利用して実際に様々なボランティア活動を体験できる企画です。



◆◆今治市の活動プログラム例◆◆

■障害児とのふれあい交流

- ・エンゼル・21 …7/28(金)
かき氷、つめたいおやつづくり
- ・スペシャルオリンピックス…月2回(日)
バスケット、水泳、ボーリング

■お年寄りの付き添い、話し相手。夏祭りの手伝いなど。

- ・今治育成園 …7/30(日)
- ・はかた寿園 …8/3(木)
- ・ケアハウス寿山荘 …8/9(水)
- ・済生会今治第2病院…随時
- ・今治なごみ苑 …随時
- ・グループホームパラディー…随時

■清掃活動…随時

- ・県が管理する河川、海岸
- ・国道、県道の緑化活動

■イベント

- ・能島水軍弓道大会…8/5・6(土・日)
受付、記録転記、連絡等
- ・今治ジャズタウン…8/27(日)
駐車場整理および受付補助
- ・愛媛マダリンパイレーツ
試合時の手伝い …随時
入場券もぎり・受付・球場内案内
場内アナウンス・観客席清掃等

今治市のボランティア相談窓口は、今治市民活動センター並びに各支所総務課となっています。ボランティア募集の詳細情報は、県が作成する「ボランティアイベントブック」「えひめボランティアネット」(<http://nv.pref.ehime.jp>)に掲載されています。

※「ボランティアイベントブック」は、今治市役所企画振興部市民まちづくり推進課、各支所、市民活動センターで配布しています。

平成18年度 市民が共におこすまちづくり事業が決まりました

市民自らが企画し、実施するさまざまなまちづくりの活動に、今治市が1団体1事業につき最大50万円を助成する「市民が共におこすまちづくり事業」。合併2年目の今年は、旧郡部からの応募が増えるなど、今治市全域の市民団体の皆さんに認知されつつあることが感じられました。去る6月12日に行なわれたプレゼンテーション(公開審査)では、各団体趣向を凝らして、提案事業をアピール。16の事業が採択され、今治市を舞台に取り組みが始まっています。

	事業名	団体名
1	来島村上水軍シンポジウム及び水軍史跡巡り	来島保存顕彰会
2	文化財の案内板の設置事業	大西町史談会
3	和装園遊会	愛媛県和装 ^{ほうゆうかい} 朋友会
4	今治戦災記録集「あなたに伝えたい」の刊行及び第36回空襲・戦災を記録する会全国連絡会議、今治大会の開催	今治市の戦災を記録する会
5	命の尊さを伝える会	K9クラブ ドッグセラピーチーム
6	シニアの情報生活支援	シニアネット今治
7	第21回今治ボーカルグループチャリティコンサート	今治ボーカルグループ
8	「わがふるさと赤灯台」	朝倉読み語りグループ「フレンド」
9	今治市のまちづくりの研究	まちづくり研究会
10	ふるさと写真展の開催とふるさと写真集の刊行	ふるさと倶楽部
11	心と視覚の実践教育を！	いまばり市民劇場
12	大浜花いっぱい運動	大浜花いっぱい咲かす会
13	伝統の炭窯を蘇らそう！	NPO 法人能島の里を発展させる会
14	CAP 子どもワークショップおよび教職員ワークショップの実施	CAP いまばり
15	障害者水泳	NPO 法人エンジョイスポーツ ジーアップ
16	演能会「今治能」	^{とうこうかい} 橙黄会

書類審査と公開プレゼンテーション審査により、事業の採択が決定されます。提供される資金が最大限の効果を発揮するために、審査会が果たす役割は大きくなっています。また、採択された事業の現場を視察するなど、制度をより適切に運用する努力が、同時に求められます。あなたも“市民の目”でチェックしてみてください。



公開プレゼンテーションは各団体4分間終了後、審査員から質問が行なわれる

審査会を終えて ～感想と今後に向けての提案～

公募委員を含め、各分野での経歴が豊かな12名の審査員の方が制度を適切に運営するためにご尽力されました。数名の方に審査を振り返っていただきました。

- ・プレゼンテーションスキルが上達している。各団体、研究、練習をした成果を感じた。「地域がどうよくなる」という部分を伝える努力をあと一歩お願いしたい。
- ・多様な取り組みに感心。ただ、提案事業によっては、波及効果が低いものも…。広い視野で今治市全域を見渡し、ニーズを把握する力を市民団体には持って欲しい。
- ・本来、行政がすべきことだと感じる事業が提案されていた。民間ならではの発想を活かし、協働する時代。行政施策を勘案し、重点テーマを設けるなど、制度を工夫してはどうか。
- ・応募団体はまだまだあるはず。もっと多様な団体に挑戦して欲しい。制度のPRに尽力すべき。
- ・審査員に若い人の応募があればいい。
- ・どんな案件に補助すべきか、審査員全員が合意した上で審査に臨むべき。点数配分、市民活動の意義などについて、事前に打ち合わせや学習会が必要。場合によっては、社会ニーズ、団体の実施能力を判断できる専門家が審査員に必要ではないか。

採択事業の現場拝見

採択事業の現場を随時紹介します。

◆来島村上水軍シンポジウム及び水軍史跡巡り（来島保存顕彰会）

Q. 活動内容は？

A. 今治市は日本一の造船・海運王国です。これは中世の海の武将、村上水軍の優れた航海技術、進取の気性を今日まで受け継いでいる証であることが、やっと知られるようになってきました。来島村上水軍の歴史文化遺産を次世代へ受け継ぐ活動をしているのが「来島保存顕彰会」です。1999年の発足当時は足を踏み入れることもできなかった来島ですが、メンバーの地道な草刈り作業により、今では城郭跡を確認できる島影を愛でることができます。

Q. 補助事業「来島村上水軍シンポジウム及び水軍史跡巡り」の効果は？

A. 新今治市発足により同じ市域の水軍となった能島村上水軍との歴史的な関わりも含めて、来島村上水軍を認識してもらおうと企画しました。郷土史の掘り起こしのみならず、海事文化の浸透や市民交流へとテーマを広げたことで、新しい層の参加者を開拓できました。能島、因島の水軍に比べ、史跡保存の観点では立ち遅れている来島ですが、パネル討論では、村上水軍博物館内に来島の展示コーナーを設けることも提案されるなど、一步踏み込んだ意見交換が行われました。また、村上水軍ゆかりの地を巡るツアーには、定員 200 人を大幅に越える応募があり、観光資源として高い価値があることを再確認できました。

Q. 今後の活動の目標は？

A. 波止浜、波方、来島の皆さんには、来島村上水軍の歴史を広く理解していただいています。今後、市内全域の皆さんに知っていただけるよう活動を続けていきたいと思っています。保全活動、観光開発などは様々な機関との連携が求められます。これまでの取り組みで培ってきた知識やノウハウを提供し、連携することで、今治市の進める海事都市構想への相乗効果を生み出していきたいです。まずは、地道な草刈りです。ご興味のある方は一緒に汗を流しましょう。

問合せ：来島保存顕彰会 事務局 ☎ 4 1 - 0 1 4 9（村瀬牧男）



◆命の尊さを伝える会（K9クラブ ドッグセラピーチーム）

Q. 活動内容は？

A. 犬を家族同様に大切に思い、共に生活をする人が増えています。一方、ふん、無駄吠えの放置など飼い主のモラル低下は大きな社会問題です。2002年、「犬を飼うことへの責任を自覚してもらいたい」と活動をはじめました。現在、会員は81名。飼い主自らが行なう訓練、犬の持つ癒しの力を活かしたセラピー活動などを通して、犬に「ボス」と慕われる飼い主が誕生しています。

Q. 補助事業「命の尊さを伝える会」の効果は？

A. オーストラリアから世界的に有名なドッグトレーナーのバルボニー氏を招き、講習会を開催しました。約50名が愛犬と共に参加。犬の本能や習性を理解した上で「しつけ」をすることが大切であることを学びました。「いつも抱っこして過ごしていませんか」、飼い主と犬の様子を一目見て、日常の問題点を指摘するバルボニー氏。「抱き癖はかみ癖」。かわいがり過ぎる、おもちゃのように扱うなど、犬の飼う際の根本的な考え方を改めるべきと、一部飼い主に警鐘が打ち鳴らされました。

Q. 今後の活動の目標は？

A. ペットブームの中、その陰で飼い主の身勝手に命を失う犬は後を絶ちません。「愛媛県動物愛護センター（松山市東川町）」で処分される犬猫は年間8500頭。野良犬ばかりではなく、「しつけが出来ずに嘔む」と飼いきれなくなった人が犬を持ち込みます。責任は犬ではなく全て人間。K9クラブは、「愛媛県動物愛護センター」と協働し、このような飼い主からの相談を受けています。ちょっとしたしつけ方の助言で、一度は手放そうとした犬との生活を再構築した飼い主もいます。ただ、年間に処分される犬猫の数を考えると、焼け石に水。今後、既に幼稚園などで行なっている犬とのふれ合いを通して命の尊さを伝える訪問講習を、小中学校にも拡充できないかと検討しています。

問合せ：K9クラブ今治 事務局 ☎ 3 4 - 8 6 7 0（小林輝紀）



我がまちの公共施設！

第9回 吉海開発総合センター



「吉海開発総合センター」は昭和55年に、地域の生涯学習の場として開設されました。郷土文化センター、B&G海洋センター、バラ公園などが隣接する好立地で、吉海町全域の住民の皆さんのサークル活動の拠点となっています。民舞、陶芸、ちぎり絵、ヨガなど、活動は盛んで、皆さんは、秋に開催される文化祭に向け練習に励んでいます。

－気軽に利用できる充実した設備－

400名程度が利用できる大ホールをはじめ、調理室、和室、体育館・テニスコートなど、さまざまな用途で利用できます。事前に利用予約をすると夜の22時まで利用可能で、ライトアップ設備が充実しているテニスコートは、週末になるとスポーツ合宿の利用で喜ばれています。土日も開館しているので、市民団体の活動拠点となっています。登録団体制度を導入しており、年会費を支払うと週1回無料で利用することができます。まだ利用したことのない方は、登録されてみてはいかがでしょうか？



400名が利用できる大ホール

開館時間	8時30分～17時15分 (事前予約があれば22:00まで)
休館日	月曜・祝日・年末年始
住所	今治市吉海町福田1290
T E L	0897-84-4322
担当課	今治市役所吉海支所 地域教育課

企業の社会貢献活動！

第2回 重松建設株式会社

豊かな地域づくりに貢献する活動を展開している今治市の企業を紹介します。
情報提供くださる企業を募集しています。



企業の使命とリンクする清掃活動

昭和29年、「地域に奉仕できる企業づくり」を目指して建設業を開業しました。「はじめる前よりもきれいに」を心がけ、建設現場周辺の道路や水路の清掃活動を行っています。もともとある美しいまちなみを守りながら、新しい建物を建てることは建設業者として当然の使命。清掃活動は、その土地の人、自然、文化を知ることにつながります。清掃中、地域住民の方からいただく「ご苦労様」の一言に、その土地にかかわることができた縁を感じます。地域住民の方とのコミュニケーションが、施工した建物がその土地に溶け込んでいく実感となっています。



建設現場周辺の清掃活動の様子

地域密着のリーグを応援したい

「四国の活性化」を目指してスタートした四国アイランドリーグ。地元企業として愛媛マンダリンパイレーツの応援をしています。応援することを通して、社員の団結力が高まるなど、仕事にも好影響です。「遊び心の醸成につながれば」との思いではじめた取り組みでしたが、「楽しかった。また参加したい。」と意欲的な社員の声に、予想以上の効果を感じています。地域の少年野球チームと愛媛マンダリンパイレーツの橋渡しをし、選手による少年野球教室も実現。地域の子ども達や保護者にも喜ばれました。様々な活動を通して、社員一人ひとりに社会貢献という発想が身についていることを感じています。



愛媛マンダリンパイレーツの選手による少年野球教室の様子

